

演劇×音楽で蘇る

羽衣

県民の皆様の
ご参加をお待ち
しています

日時

2018年1月24日（水）10:40～12:10

場所

静岡県立大学草薙キャンパス 大講堂
（〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1）

構成

挨拶・司会
立田洋司（本学名誉教授、ムセイオン静岡学内実行委員会顧問）

第1部 劇「羽衣」

布施安寿香（天女役・SPAC所属俳優）

吉見亮（白竜役・SPAC所属俳優）

渡会美帆（作曲家）

第2部 講演「世界の羽衣伝説」

富沢寿勇（大学院国際関係学研究科長、文化人類学）

* この公演は、本学国際関係学部の鈴木さやか講師が能「羽衣」をもとに企画・制作した「羽衣」絵本を原作としています。参加費・事前登録不要。当日、簡単な受付をお願いします。

演劇×音楽で蘇る「羽衣」

能「羽衣」は、世界文化遺産にもなった静岡三保松原を舞台とする、能の中でも一二を争う人気曲です。能「羽衣」のもととなった羽衣伝説は日本各地に数百のバリエーションがあると言われており、さらに広くアジア各地からヨーロッパまでも含めて、世界中に類話があることでも知られています。「羽衣」は、グローバル化された社会において、各地域の人々が互いの共通性と差異を学び、その裏に根ざす思想を探究していくうえで必須の教養といえるでしょう。

このたび、静岡県立大学における全学共通科目「ムセイオン静岡—世界の文化遺産B—」（立田洋司本学名誉教授担当）の特別企画として、「羽衣」劇の公演を行います。この公演では、本学国際関係学部・鈴木さやか講師が能「羽衣」をもとに企画・制作した「羽衣」絵本を原作としています。天女役と白竜役をSPAC（静岡県舞台芸術センター）の実力派俳優である布施安寿香さん、吉見亮さんが演じ、作曲・演奏を、作曲家で舞台への楽曲提供の経験が豊富な渡会美帆さんが担当します。また、公演後には本学の富沢寿勇教授（文化人類学専攻）が、「世界の羽衣伝説」の講演を行います。

才能あふれるアーティストの共演により、いま・ここに蘇る「天女と人間との出逢いの奇跡」を、ぜひ皆さんも体験してください。

劇『羽衣』出演者紹介

布施 安寿香(ふせ あすか)

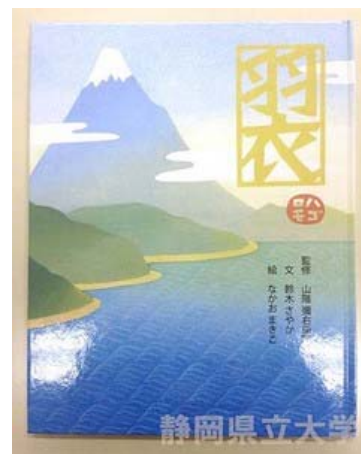
SPAC所属俳優。2002年劇団「ク・ナウカ」入団。2006年よりSPAC在籍。主な主演作品は『夜叉ヶ池』『ブラステッド』『ハムレット』など。2017年、アヴィニオン演劇祭のオープニング招待作品『アンティゴネ』において、イスメネのムーバーを演じる。

吉見 亮(よしみ りょう)

SPAC所属俳優。身体を駆使したパフォーマンスと、知性とユーモアを感じさせる演技に定評がある。主な出演作品は、『マハーバーラタ』『真夏の夜の夢』『ロミオとジュリエット』『アンティゴネ』『変身』など。

渡会 美帆(わたらい みほ)

作曲家・演奏家。東京音楽大学作曲専攻卒。ピアノソロ活動の他、鍵盤ハーモニカや小物打楽器を使った即興演奏活動を盛んに行う。SPAC本公演『王国、空を飛ぶ!』音楽監督、SPAC俳優・布施安寿香とのユニット「帆香」での活動など、舞台俳優との共演も多く、朗読のための楽曲提供は20作品を超える。



「羽衣」絵本表紙
(監修:山階彌右衛門、
文:鈴木さやか、
絵:なかおまき、
静岡新聞社、2015年)

ムセイオン静岡とは

本学および静岡市谷田丘陵地帯とその周辺地帯にある7つの教育文化機関が連携して行う自主協働プログラム。「ムセイオン」とは、古代エジプトのアレクサンドリアに興った世界初の学問、教育、文化、芸術の総合施設のことで、ミュージアムの語源になっています。学びの場を提供し、若者や専門家が自由に行き交う文化の発信地を目指しています。